

炭電 心く代 議員 公明党



問 子育て世代に寄り添う支援を

答 3月議会に関連予算を計上

問 国の「子育て世代包括支援事業」ガイドラインの概要は。

答 〔健康推進課長〕 センターの位置付け、各業務の具体的内容など。

問 ガイドラインと比較して、市の優れている点、遅れている点は。

答 優れている点は、支援対象者の実情把握と関係機関との連絡調整。遅れている点は、必要に応じた利用プラン、支援プランが未作成。

問 子育て世代のニーズの把握と取り組みは。

答 どんな不安を感じ、どのような支援が必要かを把握。

問 ネットワーク強化や保健師増員などの課題解決は。

答 来年度中の支援センター設置に向け、先進地の事例を調査研究する。

問 「弥富版ネウボラ」の設置および総合相談窓口への考えは。

答 〔福祉課長〕 課題が多く、先進市の状況を確認。

答 〔市長〕 7月から併設で、弥富市子育て世代包括支援センターを設置予定。

問 3月議会に関連予算を計上。子どもの学習支援、今後の取り組みは。

〔福祉課長〕 課題が多く、先進市の状況を確認。



問 祖父母手帳作成で子育て支援を

答 子育て情報誌でアドバイス

問 昔と今の子育ての違いを学び、世代間の交流促進に向けた、祖父母子育て手帳の作成と配布への考えは。

答 〔民生部長〕 現在、祖父母手帳を作成する予定はないが、市発行の子育て情報誌でアドバイスしていく。

問 祖父母世代を対象に「子育て講座」開設への考えは。

答 子育て支援センターにおいて、9月に「祖父母と遊ぼうDAY」を開催。子育て講座は、今後調査研究していく。